

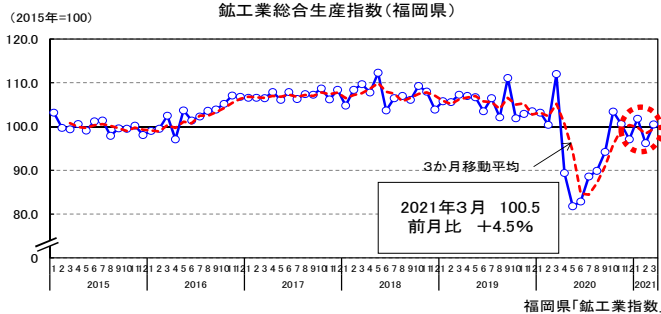
# ふくおかの経済

令和3年5月号



**生産** 持ち直している。

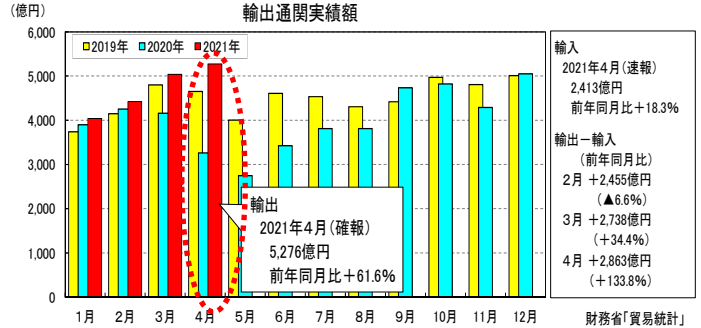
3月の生産指数は、輸送機械工業などの上昇により2か月ぶりに前月を上回りました。



鉱工業生産指数は、2015年の生産水準を100として、その変化を表しています。

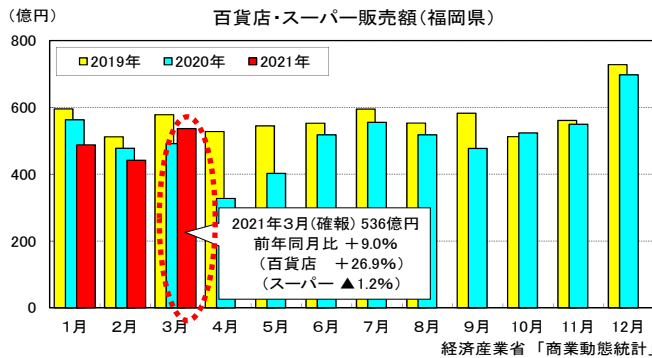
**貿易** 輸出は、増加している。  
輸入は、持ち直している。

4月の輸出は、前年同月比+61.6%と5か月連続で前年を上回りました。



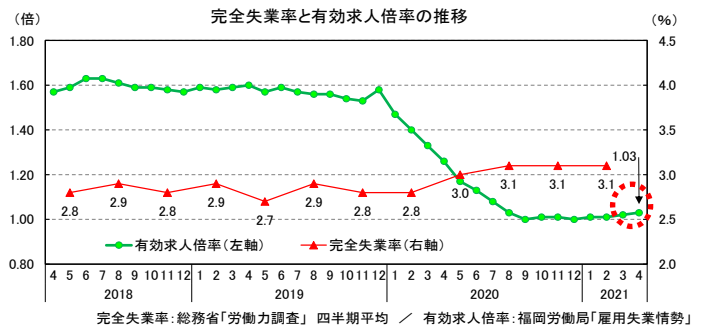
**消費** このところ弱含んでいる。

3月の百貨店・スーパー販売額は、前年を上回ったものの、コロナ禍前の2019年3月を下回りました。



**雇用** 求人改善の動きが見られるものの、厳しさが見られる。

4月の有効求人倍率は1.03倍で、前月を0.01ポイント上回りました。



「仕事を探している人の数」に対する「企業の求人数」の割合が有効求人倍率です。1.00倍より大きいと、人手不足を表します。

## 今月のトピック 新採就職に影響した新型コロナ感染症

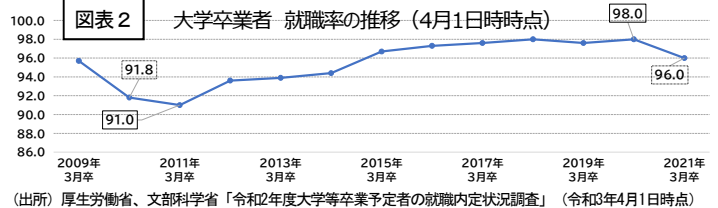
- 新型コロナ感染症の拡大は、新卒学生の就職活動にも少なくない影響を与えています。主要企業における令和3年4月卒業予定の大学生採用内定者数は、令和2年4月入社人数と比べ昨年10月時点で11.4%少なくなっています。特に、学生に人気の業種であるホテル・旅行業界や、自動車・部品業界の内定数が大幅に減少しています(図表1)。
- 一方、実際に令和3年4月に卒業した大学生の就職率は、過去最高だった前年より2ポイント低い96.0%にとどまりました(図表2)。最終的には小幅なマイナスとなった理由については、対面での就職活動ができない等で出遅れた学生が挽回してきたことや、志望業界を変えて就職先を決めた学生が多かったためだと考えられます。
- 令和4年春に卒業予定の大学生等も、約5割が新型コロナ感染症の拡大により志望職種や志望業界に変化があったとしており(図表3)、感染症の拡大が収束しない中、しばらくは学生にとって厳しい環境が続くそうです。

図表1 業種別 令和3年度4月大卒採用内定状況

	令和3年4月 内定状況		令和2年4月 入社数	増減率
	社数	内定人数		
全体	927	105,442	119,019	▲11.4
製造業	402	33,335	39,034	▲14.6
自動車・部品	37	2,786	3,946	▲29.4
非製造業	525	72,107	79,985	▲9.8
ホテル・旅行	6	546	1,284	▲57.5

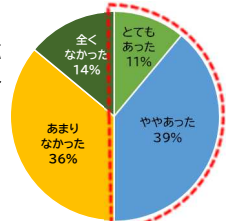
(出所)：日本経済新聞(令和2年10月18日)「2021年度の採用状況調査(令和2年10月1日時点)」  
※調査対象1,036社のうち、比較可能な927社を集計

図表2 大学卒業者 就職率の推移(4月1日時点)



(出所) 厚生労働省、文部科学省「令和2年度大学等卒業予定者の就職内定状況調査(令和3年4月1日時点)」

図表3 Q) 新型コロナウイルス感染症の拡大によって、志望職種や志望業界に変化はありましたか?



(出所)：ビズリーチ・キャンパス「大学のキャリアセンター活用などに関するアンケート」(調査期間：令和2年11月9日～令和2年11月12日)